

第1回光市議会報告会報告書

平成24年3月23日

光市議会

議長 中本 和行 様

広報広聴委員会

委員長 森戸芳史

第1回光市議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

- 1 開催場所及び日時
光市民ホール 小ホール
平成24年2月10日（金） 19時から21時
- 2 参加人数
約350人
- 3 報告会次第
 - (1) 市議会議長挨拶
 - (2) 市議会のしくみ
 - (3) 議会報告（常任委員会報告）
 - ① 市民福祉委員会
 - ② 環境経済委員会
 - ③ 総務文教委員会
 - ④ 質疑・応答
 - (4) 市民の意見・提言
 - (5) 市議会傍聴PR・市議会ホームページのPR
 - (6) 市議会副議長挨拶
- 4 報告会・常任委員会報告に対する質疑・応答及び市民の意見提言（別紙）
- 5 報告会 アンケート集計結果（別紙）

4 報告会・常任委員会報告に対する質疑・応答及び市民の意見提言

- ① 室積の消防分団の機庫は、公民館の一部を間借りしている状態で、他地域は全て分団の所有である。公民館建替の計画の中で、整理してほしい。

回答

持ち帰って検討したい。

- ② 住宅リフォーム助成制度について、請願が採択されているが、実現しないのは、行政と議会の怠慢ではないのか。周南市もこの2月からスタートする。実施に向け制度導入を御願いたい。

回答

本請願は、平成23年6月議会で、12対8で採択され、9月の環境経済委員会、12月の定例会でも取り上げられている。今後も問題点がクリアできるよう引き続き強く要請したい。

- ③ 光市の財務諸表を現金主義から発生主義に切り替えてほしい。また、未収金や未払い費用、引当金等、中身の公開を御願いたい。

回答

現在、財務状況については、財政の健全化に関する法律にのっとり、平成22年度決算に基づき、企業会計の考え方を取り入れた「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の財務書類4表を作成しています。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率は早期健全化基準、財政再生基準を下回っている状況である。

- ④ 現在、戸仲橋と光井橋の改修工事を行っている。これは、その地区が、光井川に対し内水の排水が鮎尾橋とあいば一くのところに出ており、低地に排水を集中させる状況について、地域からも苦情が出ている。以前、川地地区で66ミリの雨が降り、そのときに、公民館のところが崩れ、公民館を移転した。その後ナフコのところへの排水の計画が出ていて、中止という話もある。今後内水の排水をどのようにされるのか、検討していただきたい。

回答

今後、きちんと受け止めて検討させていただきたい。

- ⑤ 冠山総合公園の子どもの森について、傾斜がきつく、高齢者はあがることが出来ない。

バリアフリーを優先してほしい。

また、売店では、光市産の名産があっても試食もしていない。真剣な取り組みを御願います。

回答

子どもの森の遊具の点については、一定期間が過ぎたら、利用者の声を集約するよう要請する。売店についても、ひかり冠梅園振興会とも意見交換をしながら、改善を要請する。

- ⑥ 公民館について、生涯学習は教育委員会所管で公民館活動は市民部の所管という状況で地域はコミュニティ協議会立ち上げに向け活動している。2つの所管にまたがった状況をどう整理するのか。

回答

議会としても一つにまとまるよう要望している。今後も意見を聞きながら、方向性を定めていきたい。

- ⑦ 大和総合病院について、請願を一部趣旨採択されたことについて、反対、賛成をはっきりしてほしい。

回答

制度として、反対、賛成についてはっきり決められないこともある。今後ご意見を少しでも取り入れていきたい。

- ⑧ 上関原発について、周辺自治体の合意を必要とするよう意見書を提出したとのことだが、これを具体的に意思表示するのは、行政か議会かそれとも市民の意見を聞くのか。

回答

周辺自治体が原発建設の是非や安全性に直接関与できないため、関与できるよう意見書という形で県に議会全体の意思を送付した。

- ⑨ 三島温泉健康交流施設について4点質問する。

1点目は、指定管理料の▲1千万円は赤字額ということか。

2点目は、年間2千万円という指定管理料額は、以前はもっと低かったと思われるが。

3点目は、年間利用者7万人の根拠は。

4点目は、三島温泉健康交流施設の建設予算に賛成した議員名、会派を教えてください。また、賛成した議員は大赤字を計上した場合、また指定管理者が投げ出すような事態が起こった時、どういう責任を取るのか。

回答

1点目は、今回、1千万円の赤字について、7万人利用の収入を元に、経費を引いた残

りが6ヶ月間で1千万円近くになる。今後は指定管理者と話し合いをしながら正式な経営計画を提出する流れで、あくまで仮の見込み額である。

2点目について、以前の670万円という数字は、料金や従業員数等も決まっていない段階での数字である。今後は指定管理者が決まった段階で決めていくという状況である。

3点目について、当初は13万人という数字であったが、精査を求めた。近隣施設の大城では年間8万人の利用があるということと、市民が年間1回、市外から1万5千人ということで7万人の数字になっている。

4点目について、この施設は健康増進のための施設であり、施設の利用により健康づくりを行ってほしい。

- ⑩ 三島温泉健康交流施設の7万人集客というのは、絶対ありえない。食事もない。四国と本州を渡る橋の通過量も嘘だった。今後は人口も減少する。子供や孫のため借金を残さないようにしてほしい。

回答

借金は、平成18年度末で、510億円でしたが、19年度からの5年間の間に約108億円減らすということで、平成22年度決算で438億円まで減っている。今後も更なる努力を重ねて行きたい。

- ⑪ もし議員が一人もいなかったとしたら、市民にとってどういう弊害があるのか。

回答

議会がなくなったとしたら、民主主義ではなくなって、市長の独裁ということになる。

- ⑫ シルトロニック・ジャパンの閉鎖について、議員はどのように感じ、どんな対応をしたのか。

回答

議会としても市の直接雇用の枠をつくることと、雇用対策に全力を尽くすよう要望している。現在、市役所で2名、水道局で1名、パート雇用5名の採用が決定している。市長も危機感を持ち、周辺市町と企業に対し雇用の要請を行っている。行政、議会一丸となってこの危機を乗り越えていきたい。

- ⑬ 議員はどのように市民の声を聞き、一般質問に反映しているのか。またホームページやブログもその手段のひとつだと考えるが、どのぐらいの議員が持っているのか。

回答

ホームページに関しては、5、6人が持っていると思われる。また、意見交換会への出席や地域での活動などを通じ意見集約している。各会派でも毎年要望書も提出し、市民の声の実現を図っている。

- ⑭ 先日、公民館で100名を超える高齢者が集まった。そのとき、ある方が、100人ぐらいの高齢者の世話をしているという話を聞き、光市にもこんなにすばらしい人がいるということ報告させていただきます。
- ⑮ 浄化槽の料金について、独居になり一人分の使用量であるにもかかわらず、建設当時と同じ料金を徴収する仕組みの見直しを強く要望する。



報告会 アンケート集計 (自由記述部分)

①報告会に対して

- 市議会の活動がよく分かりました。今後もこの会を開催してください。(室積40代)
- プロジェクターを使用され、目と耳とに訴えられる事から分かりやすかった。参加者も多く、光市での市民の関心の高さが伝わった。今後も積極的に市民の中に入り込んで、市民との距離を縮めることが必要だと思います。(その他60代)
- 2回3回と継続させるために努力してもらいたい。(大和60代)
- 11月の選挙がすんでやってほしい。(島田60代)
- 市議会の仕組みについての説明の時、説明の言葉が早すぎると思われます。もうワンテンポゆっくりの方が市民に分かりやすいと思う。マイクはスタンドではなくピンマイクの方が市民に分かりやすいと思う。(下松60代)
- パワーポイントはもう少し変化させた動きがあれば単調でなくなり、市民をくぎづけに出来るのではと思います。(下松60代)
- 次回から意見交換に時間を費やすべき。(三井50代)
- 報告の時間は簡潔にして、市民の声を聴く時間をもっととるように。(浅江60代)
- 個別の事業について、どのような議論があったかはわかったが、全体としてどの方向に向かっているのか。それに各事業が関連しているのかの説明があればよい。(浅江50代)
- 若い人の声が聞ける仕組みがいるのではないか。(浅江50代)
- 全体としてよい取り組みだったと思う。(浅江50代)
- すべてのことを報告するには時間的にも内容的にも難しい。テーマを絞って回数を増やすなどすべき。報告するツールはHPでも紙でもできる。公の場で市民の生の声を聴く貴重な機会と思うので、双方向の質疑応答や意見交換を充実させるべき。(その他30代)
- 初回なので、わかりやすい説明であったが、長かった。意見がたくさん出てよかった。昔の市民集会がないので、いい人がたくさんいる。(光井50代)
- 積極的に開催を要望する。(光井70代)
- 今回の市議会報告会については、全議員でひとつのことに協力して取り組んだ感じがあり、よかった。市民の生の声が直接聞いて、様子がよく分かった。文書で読むのと違い、生の人の声や雰囲気を感じることができたのは大変勉強になりました。市議会の方の情熱を感じました。(室積40代)
- 質疑、応答では、特定の知り合いの方について答える場面があり、不公平を感じた。同じ対応がよいのでは。(室積40代)

- 議員さんの個人的な意見は控えた方がいいと感じました。(室積40代)
- 報告会の実施の実現は評価できると思う。(室積30代)
- こうした場に若者が少ないこと自体、人材の流出が顕著である。少子高齢化に対しての2人目以降の施策も少し弱い。若者が定着しやすいまちづくりに努めて頂きたい。(室積30代)
- 市民の意見を吸い上げる場としてはよかった。(室積30代)
- 今後も定期的に市議会報告会をやってほしい。(光井70代)
- 開催をもっと早く行うべき。(室積60代)
- 市議会議員の活動とご心労が身近く感得できた。この報告会は、年2回くらいは開催されたい。身近な議会・議決に至るまで大いに審議を尽くしてほしい。議会に出席するとよく分かるだろうが、参加しにくい。(島田80代)
- まとまっていてよかったと思います。(室積80代)
- 議会に参加して静かに聴きたい。(浅江70代)
- 大ホールでの開催を。(島田50代)
- たいへん分かり易くよかったと思います。(室積50代)
- 参加した市民の意見を聞く時間ももっと長くしていい。まだ意見を言いたかった人がいたのに残念。(その他30代)
- 「一部趣旨採択」について、もっと詳しい考え方を聞きたかった。(その他30代)
- 各地区での報告会をやってほしい。市民ホールまでは遠く、出席するのが大変。また、市の大きな問題だけでなく、地域の身近な問題の報告や意見交換の場にしてほしい。(室積60代)
- 今まで特定の人からの議会報告しか聞くことがなかったので、このような機会を持たれたのは本当に良いことだと思います。これからも、ますます開かれた議会を目指していただきたいと思います。(室積50代)
- 市民は十人十色、選ばれた議員も様々なポリシーを持つにもかかわらず、画一的な感じがする。市民は様々な政治的立場の表明を求めている。世情も不安で一発触発のとき、本音をみな聞きたい。もともと選挙で生死を分けるバトルをしてきた議員が同じ顔で並ぶ方が不自然。(その他60代)
- 市民の意見が表現できるいい機会だと思いました。将来に負担を残さないようお願いします。(その他30代)
- 質疑が地域的な問題が多いので、地区ごとに分けた分科会が必要ではないか。(大和60代)
- 若い人、主婦にも発言の意見の機会を。(室積40代)
- 市議会のコマーシャルにすぎない。不利な点は説明していない。下松市のように地区制にすべき。(三井60代)
- ただ文を読むだけなら、配布された文書を読むので意味を感じない。もう少し工夫のあ

- る会にしてほしい。議員さんの答えもあまりはっきりせず不満足。(三井60代)
- 質問の内容に対して、それに合致する答弁がほしかった。人によっては答えてないものがあった。(島田70代)
- 発表者は一応氏名を名乗ってほしかった。(島田70代)
- 今後もこの様な報告会を希望します。(島田80代)
- 議会の事が理解できました。市民との距離が少しだけでも身近になりました。構成、運営の役割等よくわかりました。(島田70代)
- せっかく頂いた資料ですが、説明するとき何ページについての説明であるのか知らせてほしい。(室積70代)
- 第2回目は土日の昼間をお願いしたいと思います。時間も長くして、質問と答弁の形で。(浅江50代)
- 重要なことをサラリと言っただけで、問題点を軽いものになっているように受け取れる面がある。(島田60代)
- 自分たちでは見えないところがよく分かり、良かったと思います。ご苦労さまでした。(浅江70代)
- 寒い時期、インフルエンザ発生時期の開催はいかがなものか。説明が長く、眠くなりました。(浅江60代)
- 小地域での交流会の開催の検討を。(島田70代)
- 議会報告会は大変いいことだ。参加者がまだまだ一般の方が少ない。関心が少ないのか。これから工夫をこらし、多くの方が参加できるように。(室積70代)
- 議会の傍聴には時間がとりにくいので、今回は気軽に出席できました。(周防70代)
- 質疑では、答弁者が全員一列になり顔を見せてほしい。質問者が質問を終わり答弁を納得するまでマイクを持たせて質疑させてほしい。(浅江60代)
- たいへんよかった。毎年続けてほしい。(その他70代)
- 質問はいろいろあって良かったが、議員の答えがあまりよくなかった。もう少し市民に納得できる答えがほしかった。選挙があるので自分を売っているように見える。選挙前だけでなく、これからも続けてほしい。(室積60代)
- こういう集まりは良いと思う。(大和70代)
- 各委員会の説明は詳しくて分かり易いが、全体的に少し長すぎるようだ。(三井50代)
- 委員長の回答において、専門的行政用語を早口で言われても聞く方にとってはよく分からない。(三井50代)
- 各地区で意見聴取し、メイン会場で行うとよい。(室積60代)
- 事業について議会が説明し、質問に受け応えするのは無理がある。(室積50代)
- 舞台の上の机の位置に配慮を。前の方の座席から映像が見えなかった。(室積50代)
- 今後も続けてほしい。(光井50代)
- 議員も勉強を多少していることが分かった。報告議員も氏名をいってほしかった。議員

名がわからない。(浅江60代)

○議員や議会のレベルアップ機能は十分あった。(市民のため・・・の目的はあまり重視しないでもいい)各議員を支えるグループの活性化機能チェックができる。女性の参画が低調。議会で具体性をもって取り組む必要あり。(室積70代)

○今回の貴会の誠実な対応に感じ入るとともに、次回以降の開会を望みます。(室積50代)

○恣意的な質問が少なくよかった。次回も続けてほしい。(三井60代)

○資料だけでなく、前にパワーポイントがあり分かり易かった。しかし、みんな資料に目を落としているようで、もったいなく感じた、質疑応答ではいろいろな意見が出ていた。その辺りのことをしっかり受け止めて、市民のために頑張っていたいただきたいと思う。(島田30代)

○意見を聞くだけ、説明をするだけの会なら意味がない。議論のないところに発展はない。(浅江50代)

○取り組みとしては大変よいと思う。ただ、各自治会でやり、もっと多くの意見を聞ける場もあった方がよいと感じました。このような会場では、各自治会のもつ細々した問題を議論しにくいし、各地区の代表議員と自治会の信頼関係もできるのではないかと思います。光市、議員、自治会の強い連携で、よい光市にしていってほしいと思います。(浅江30代)

○持続可能な光市であるためには、市民、行政、財政、そして議員(議会)それぞれが力を発揮していくことが大切だと思います。4つのうち、議会力に関してはまだ弱いと感じています。議論の情報発信、受信をしっかりしていただきたい。今回のような報告会を、定期的に行っていただければと思います。(浅江40代)

○1回目は各内容の説明ということでよかったと思います。2回目には、もっとくだけた話が聞けたらよいと思います。(浅江30代)

○出張報告会を是非お願いします。(大和70代)

○第1回目の報告会はよかったと思います。議会の活動を理解するうえで、どんどんやるべきだと思います。(大和60代)

○質疑応答に関しては、もっといろいろな話が出るのかと思っていましたが、報告会に対するものだけに限られていたのは残念です。質問しようにも、当日配布された資料ですので、中身をよく勉強することができません。もっとざっくばらんな話ができるようにしてほしい。(大和50代)

○今後も続けてほしい。市議会及び議員の仕事を市民にアピールすべき。(島田60代)

○市内小規模で実行したらよい。(大和など考慮)(島田70代)

○答えがなく、質問しても意味がないように思う。(室積70代)

○この報告会は評価します。しかし、議会基本条例がなく、この報告会はどう位置付けられているのか。議員の申し合わせによる実施ならば、今後も続くかどうか疑問が残る。(室積60代)

○議会HPが充実していない。議決権の拡大の条例や、上関原発の意見書がHPに出てい

ない。もっと HP で発信するべきだ。(室積 60 代)

○議会で多数決で決まったことの報告でしたが、否決された少数派の人たちの生の声が聞きたかった。(FAX)

○発言の時、地区と氏名を言わされますが、強制してはいけないと思います。(FAX)

②市議会に対して

- 議員報酬は少なくしてほしい（浅江70代）
- 議会改革の一環として光市議会も「議会基本条例」を制定されてはいかががでしょうか。（三井50代）
- 議会において反問権を導入されてはいかがですか。（三井50代）
- 会派が多いと思う。それぞれの考え方をこま切れる的に論議することは各議案についてするべきと思う（室積70代）
- 傍聴席にイヤホン設置をやったらどうか。高齢化により、意見のやり取りがきこえにくいことが多いため。（室積70代）
- 本当に18人で市民の意見は適切に反映できるのだろうか。（室積60代）
- 震災後の市民の防災について、議会提案はあったのか。（室積50代）
- 議員定数及び議員報酬の削減は当然である。なぜこれらが出来ないのか。市民総採決で決めてほしい。もう少し市民の直截な意思を聞いてほしい。（その他70代）
- 市議会の定数を減らすべき。（島田60代）
- 会派数が多いけど、半分くらいにはならないのか。（島田70代）
- 請願書を提出しても、ひとつの委員会で一部趣旨採択されるのは納得できません。それも時間ぎりぎりでの一人の議員の声掛けにより、まるで出来レースでした。民主主義とはほど遠いと感じています。開かれた議会とは思えません。他の問題でもそうですか。市民の方からの意見が出て、そうなんだと感じています。（浅江50代）
- 24時間営業といわれたが、選挙前だけはあいさつもあるが、終わったら知らんぷりはいかなものか。（室積60代）
- 市民の意見を聞いて動くのではなく、プロとして市民の働きかけにまわるべきである。実力があるから議員として選ばれていることを再認識しよう。（室積70代）
- 議員報酬を半分にするという議案が否決され大変残念である。やはり光市の財政を考えるならば、半減は当然である。やはりわが身が大事なのか。本当に光市のために動くのであれば、現報酬の4分の1や開催日の日当制でもよいと思います。本当に光市のためを思うなら、自分の身を守るのではなくて、自分の身を削ってでもやってほしい。（三井40代）
- 議員報酬は日額にすべきだ。月額にするほど働いてはいない。（浅江50代）
- HPの活用を、もっと考えていただきたい。（浅江40代）
- 上関原発計画について、光市は10キロ20キロ圏内にあると思うので、光市議会として反対の意見表明をすべきだと思う。子どもや孫の世代に良い環境を残し、安心して生存できるようにしてほしい。凍結ではなく中止を求めるべきである。（大和60代）
- 原発を上関に今なら中止さすこともできます。命と財産を守るのは市会議員さんの使命ではないでしょうか。交付金をもらうような市会議員の集まりにならないよう、心して議員生活をされるよう、住民はあなたたちの行動を見守っています。福祉の向上のため

に交付金をもらっても、原発の事故がおこればなんにもなりません。いつも住民の安心安全の住みやすい光市の建設に心をもやしてください。(大和60代)

○定数22⇒18は、今後に禍根を残す。議員報酬は現在でいい。市民に媚びていないか。(島田60代)

○お金もないのに、むやみに視察して無駄使いをしないでほしい。(室積60代)

○議員の仕事とは何かが分かってないのではないか。政治に携わるということはボランティア精神のある人がやること。自分はこういうまちにしたいと思うこと。今の国会議員に足りないボランティア精神、これを忘れてもらっては困る。だから報酬は半額でもよい。(室積60代)

○議会においても、地域の自治の回復に、協働の重要性を共有できるような勉強会を実施していただきたいと思います。協働事業の取り組みを促進する制度設計を行っていただきたい。(メール)

○協働事業の促進のための協働事業の評価を行う委員会等の設置を制度化していただきたい。(メール)

○コミュニティーのあり方も含めて、社会教育法第24条で規定されている公民館と地域コミュニティーセンターとの位置づけを含めて、条例を制定していただきたいと思います。(メール)

③市政全般に対して

- スポーツ公園内や他の市の施設での禁煙を進めて下さい。(特に灰皿のない所でのたばこはいけません)(大和60代)
- 鮎尾～三輪小で歩道と車道の区別がない所では、子ども達の安全が守れないようである。通学時間ではスピード制限をしたらどうか。(大和60代)
- 高齢化に対する市政方針を早急に議論すべき。(浅江60代)
- 三島温泉、マイナス収益になる公算なのに、強引に押し通されたのは、議員としての良心は傷まないのか。(浅江60代)
- 原発について、光市長は「国策であるから賛成も反対も出来ない」と言ってきたが、今の時点ではどのように考えているか、一般質問で追及してほしい。(室積60代)
- 大和総合病院は朝行ってみるとほとんどいない。これでいいのか。大きな病院をこんなにしておいていいのか(大和70代)
- 防犯灯のLED化助成金について、先着順ではなくて、各自治会に公平に配分してほしい。(浅江70代)
- 密漁が多くなっていると聞いております。調査をお願いします。(室積60代)
- 光総合病院は2次救急を掲げているが、一次救急の処置等にもかかわらず受診拒否をし、他病院(徳山中央病院と名をあげる)をすすめる。二次救急として国からの補助金があるはずです。もう少し夜間休日の救急外来を充実してほしい。(室積40代)
- 病院の苦情は市議会に伝達されているのか。もう少し、光総合病院の現状を把握してください。二次救急ができないのなら、二次救急病院と言わないでほしい。(室積40代)
- ぐるりんバスは室積にないのは何故か。税金はとっているのに室積だけにないのはおかしい。(室積40代)
- 光青年の家の現状確認はしたとあったが、今後どうなるのかははっきり示してほしい。(その他30代)
- 里の厨について自賛されていますが、JA三井の販売コーナーと比べてまだまだのように思いますが。(室積70代)
- 上関原発は絶対に作らせてはいけない。地震が直下で生じた場合には西日本の安全に関わるからである。半径30キロの問題ではない。(大和40代)
- 三島の温泉をわけのわからない理由で建設することにしたが、一部建設業者と一部議員が癒着しているとしか考えられない。このような箱モノは、後の世代に借金として迷惑をかけるので、今後作らないようにしてください。(大和40代)
- 病院の赤字に関してだが、能力のない職員が多いからではないか。勤務態度の悪い職員については、辞職していただくよう市議会に活動してほしい。(大和40代)
- 原発の交付金は絶対受け取らないでほしい。(大和70代)
- シルトロニック・ジャパンの離職者の全体採用率は何%の目標か。(光市内、光市外)(三

井 60代)

○子育て支援をしっかりと。(浅江 60代)

○光市をひとつの大家族的な取り組みを。(浅江 60代)

○行政、企業、市民との協働で、しっかり絆を深め、若者が集まりやすいまちづくりを。(浅江 60代)

○日本一の出生率を目指そう。(浅江 60代)

○市民感覚とやはり離れている感じがする。冠山総合公園の整備にしてもよく分からない。三島温泉健康交流施設の利用者 7 万人にしてもよく分からない。(島田 60代)

○市の財政状況を明らかにできるバランスシートにすべき。現在のバランスシートは、まともなバランスシートになっていないと思う。(島田 70代)

○原発は中止。なぜなら安全と言いながら、何といい加減だったことか。信じられないです。(室積 60代)

○初めから赤字がたくさん出ると分かっている施設はつくらないこと。市民のための施設を作るなら、最初に必要かどうか市民に聞いてから計画してほしい。(室積 60代)

○太陽光発電をつけるのに補助金が出、そのうえ中国電力が余った電気を高く買い、その差額を貧乏人に押し付け、電気代を上げるというのには納得がいかない。(室積 60代)

○子どもの遊具は管理をしっかりとしないと事故があったとき税金で補償することになるので、どこも遊具を作らないことにしたのではなかったのか。(室積 60代)

○ごみ処理が大変である。ごみにお金をかけて老人を助けてほしい。(室積 60代)